

## ArcGIS for Desktop II 基礎編 - 前提知識 確認リスト

	質問	YES	NO
1	[カタログ] ウィンドウからデータを参照・追加できる。		
2	属性テーブルを開いて属性情報を確認することができる。		
3	フィーチャ・レイヤ・データフレームとは何か、理解している		
4	ArcGISで利用するベクター/ラスター データの形式について理解している		
5	シェープファイル・ジオデータベースなどのデータ保存形式について理解している。		
6	レイヤとデータの違いが説明できる		
7	マップドキュメントの保存方法や、保存される情報には何が含まれているのかを理解している		
8	初歩的なシンボル・ラベルの設定ができる。		
9	単純なレイアウトを作成し、属性やレイヤの情報も含めてPDFに出力することができる		
10	座標系とは何か知っている		
11	属性検索・空間検索の基本的な使い方が分かる		
12	よく使用する解析用ツール（バッファ、インターフェクト、クリップ、ユニオン）の使い方や、それぞれの違いを理解している		

### YES の数

- ・8個未満：入門編からの受講をおすすめします。
- ・8個以上（必須）：基礎編の受講は可能ですが、しっかりと理解を深めるためには入門編からの受講をおすすめします。
- ・10個以上（推奨）：基礎編からの受講をおすすめします。

※ チェックリストの結果はあくまでも目安としてお考えください。詳細に受講内容を見て検討したい場合は各コースのテキストの目次 PDF をご確認ください。